



http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Nakatane-H/top.html  
E-Mail Nakatane-H-ss@edu.pref.kagoshima.jp  
平成30年2月2日 発行

## 『大漁を目指して』

教頭 小山 浩平

初任者として中種子養護学校に勤めて以来、2度目の本校着任となりました。当時から小さいながらも広く地域に開かれた学校で、多くの地域の方々と交流をさせていただきました。また、休日にはイオ（魚）を求めて西、東の港や磯で釣りを楽しみました。これから、そんな学校・地域での仕事を心から楽しみたいと思っています。



さて、20年ぶりの中種子養護学校は、「夢に向かって挑戦する子ども」を目指して、授業実践に取り組んでいます。11月には県の授業力向上プログラムに係る授業公開を実施し、多くの参加者に本校の実践を紹介することができました。

授業において、子どもたちがその時間の目標をしっかりと意識できているかということはとても大切な視点です。黒板には「〇〇する。」「〇〇できるようになる。」など、子どもたちがイメージしやすいような表現で、その時間の目当てが提示されており、基本をしっかりと押さえた授業を見ていただけたのではないかと思います。

ところで、授業公開時に指導助言の先生から、「良い実践だけれども『たい』が見えない」という言葉をいただきました。「・・・たい？、鯛？」、なぜなのようですが、詳しく伺うと次のようなことでした。各教室に〇学期の目標、現場実習の目標などは掲示されているが、「歌手になりたい。」「ユーチューバーになりたい。」などの子どもたちの夢は掲示されていなかったということなのです。

なるほど、「・・・頑張る」、「・・・できる」、「・・・する」というような目標を達成することがどんな将来につながるのか、または、「〇〇になりたい。」、そのためにはどんなことができるようになるなければいけないのか、ということまで教師や子どもがイメージしていることで、授業づくりや子どもたちの学びの姿勢は変わってくるなあと、「夢に向かって挑戦する子ども」を目指す本校にとって、「たい」がいかに大切であるかを実感した助言でした。

平成30年は、学校で子どもたちや先生と、休日は西や東の海で、「たい」の大漁を目指す年にしたいと思います。

## 【小学部】「笑顔いっぱいの学習発表会」

今年の学習発表会は、1年生3名の「はじめのことば」で始まりました。小学部は、子供たちが大好きな絵本「はらぺこあおむし」の話を題材に発表しました。子供たちは、大勢の観客にドキドキ、わくわくした様子でしたが、文字書きや朗読、楽器演奏など日頃の学習の中で、頑張ってきたこととできるようになったことを笑顔で元気よく発表することができました。毎日の練習や道具やバック絵の準備にも意欲的に取り組み、全員で協力しながら成功させた発表会でした。



## 【中学部】「校外学習～工場見学」

12月8日(金) 中学部全員で西之表市にある西田農産と種子島酒造を見学に行きました。島の特産品であるさつま芋が、焼き芋や焼酎などの製品に加工されていく工程を丁寧に説明してもらいながら見学することができました。また、そこで一生懸命働く人の姿を拝見することもでき、学びの多い校外学習でした。印象的だったのは、特許申請をしているという長さ20mを超える焼き芋窯、それに「外部には見せられない」焼酎の蒸留釜。いずれも「かま」が重要な働きをしているということでした。



## 【高等部】「熊毛地区高校総合文化祭」

熊毛地区高校総合文化祭が1月12日に種子島こり～まで開催されました。本校はバンド演奏を交え「花は咲く」「タッチ」の合唱を披露しました。また、美術作品展示では鑑賞を通して、屋久島高校、種子島高校、種子島中央高校との交流を深めました。

このような活動に取り組むことで、同世代の高校生と触れ合ったり、地域の方々や高等部を知っていただいたりする良い機会となっています。



## 【不祥事防止強化月間（12月）の取組から】

信頼される学校づくりに向けた本校職員の思いを、標語にしました。学校ホームページで紹介しています。

「中種子養護学校職員は教員になったときの思いを大切にします。」

## 【進路指導部】「関係機関との取組」

本校では、熊毛地区の様々な関係機関と連携を図っています。その中の一つとして、進路指導部では、種子島地区自立支援協議会ははたらく部会と連携・協力を進め、卒業生や在校生のサポートを行っています。今年度は、障害者雇用促進月間に合わせて、広報紙「はたらくってたのしい」を作成し、関係施設や地域のイベント等で配布しました。本校の実習等の様子も「中種子養護学校の就活日記」として掲載していただきました。多くの方に見ていただき、本校教育活動の啓発や地域とのつながりになることを期待したいです。



## 【地域支援部】

2、3学期も種子島、屋久島の保育所・幼稚園・こども園、小・中学校、高等学校に出向いて、発達等に関する巡回相談を行っています。他にも、地域における特別支援教育のセンター的役割として、教員や福祉関係者等を対象にした「なかようセミナー」や、高校生を対象に、障害について考える「高校生ボランティア養成講座」など、様々な研修会も企画・運営しています。また、地域の保護者や教員等からの発達等に関する相談に応じるひまわり相談も実施しており、たくさんの相談が寄せられています。これからも、誰もが豊かに学べる種子島・屋久島になるように、本校にできることを精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

## 【研修係】

今年度は、「授業力向上プログラム及びなかよう公開と研修会」を、町特別支援教育振興会との共催で、11月2日に実施しました。小、中、高等部、それぞれに授業研究を行い、総合教育センターの鎌田志穂研修主事、県教育庁の岡田幸一指導主事、鹿児島大学の廣瀬真琴准教授に指導助言をいただきました。多くの関係者の皆様にご参加いただき、たくさ有意義な研修会を実施することができました。

## 表彰

- |                  |        |       |
|------------------|--------|-------|
| ・CGアートコンテスト小学生の部 | 審査員特別賞 | 久永りこ  |
| ・中学生の部           | グランプリ  | 河野風馬  |
| ・高校生の部           | 準グランプリ | 岩川ユカリ |
| ・南九州市かわなべ青の俳句大会  | 入選     | 河野風馬  |
| ・人権に関するポスターコンクール | 入選     | 平田菜歩子 |
| ・第68回鹿児島県高校美術展   | 奨励賞    | 長野慎矢  |
|                  | 秀作賞    | 日高依恋  |
| ・南日本硬筆展          | 銀賞     | 日高依恋  |

## 鹿児島県立中種子養護学校

〒891-3604 鹿児島県熊毛郡中種子町野間 6584-4

TEL: 0997-27-2818 FAX: 0997-27-0167